

2024 春休み食の分かち合いで子育て応援

「学校給食のない時期の子育て応援:食料支援事業」実施報告

NPO 法人フードバンク狛江

【事業実施の目的】

物価高騰が続くなか、冬休みに続き、食費の負担が増える学校給食がない春休みに、一定の収入以下で子育てをする世帯を対象に、希望される世帯へ食料支援を実施しました。家計の負担を少しでも減らし、進学・進級を安心して迎えられることを願い、夏休み・冬休みの支援でつながった子育て世帯との関係を深め、食費の軽減の一助となることを目標に取り組みました。

【実施の方法と支援実績】

1) 実施対象と申し込み案内について

- ・ 食品提供対象:ひとり親家庭と就学援助を受給するふたり親世帯の18歳以下子ども及び親。
- ・ 想定世帯数と支援人数:180世帯、500人。
- ・ 申し込み方法:夏休みと冬休みの支援世帯を対象に2/21~2/29の間メールで受付。
*ホームページ申込フォームのみ(電話申込みの場合、同意書提出で正式申込み)。

2) 実施期間と回数について

- ・ 1世帯1回、宅配便または事務所・倉庫での直接受渡しで提供。
- ・ 発送または受渡し提供期間:3月1日~3月9日

3) 申し込み履歴:ホームページ上の非公開申し込みフォームより155件(キャンセル1件)

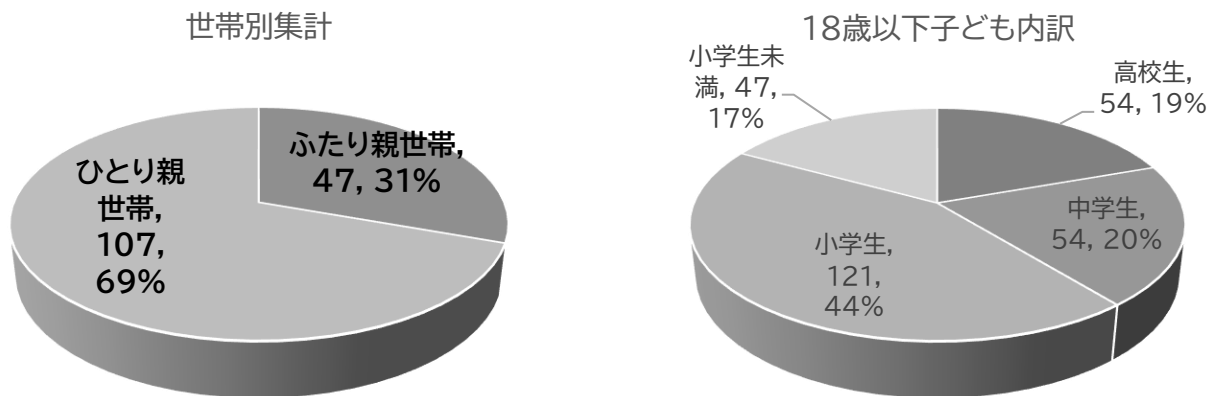
申込日	申込数	申込日	申込数
2月21日	98	2月26日	3
2月22日	6	2月27日	8
2月23日	10	2月28日	14
2月24日	5	2月29日	4
2月25日	7		
総計		155	

4) 受渡しの状況:

- ①宅配便(送料当団体負担) 82件(53%)
- ②対面での受渡し 72件(46%)

受け取り方法	件数	%
3月5日(火)13時~14時 西野川倉庫にて直接受け取り	33	21%
3月9日(土)13時~14時 西野川倉庫にて直接受け取り	38	25%
SSWが代理受取り	1	1%
宅配	82	53%
キャンセル	1	1%
総計	155	100%

5) 支援世帯数実績:154 世帯 477人(大人 201人・18歳以下子ども数:276人)



6) 提供食品について: 発送用食品セット例



● 食品提供実績

総重量	お米	一世帯平均
1725kg	606kg	11.2 kg

【食品集荷目標と実績】

- 想定必要食品量 :1,500kg~2,000kg (1人あたり3~4kg)

食品寄贈集荷実績	1月	2月	総計
市民	243	304	547
企業・団体	543	775	1,318
常設	137	173	310
生協	229	442	671
購入		181	181
総計	1,152	1,875	3,027

食品等提供企業・団体(順不同・敬称略)		
3色パステルアート	天理教江東分教会	カーブス上野毛
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	ファミリーマート東野川2丁目店	カーブス祖師谷大蔵
明治ホールディングス(株)	ファミリーマート狛江東和泉店	カーブスアメリカ稲城
華嚴院(おてらおやつクラブ)	正受院	銀座ステファニー化粧品(株)
コープみらい	東京すずらの会	狛江市社会福祉協議会
パルシステム狛江センター	ダイエーグループ 3 店舗	狛江市安心安全課
東都生活協同組合	創価学会	東京すずらの会
NPO 法人えるが	三田会	日本証券業協会 SDGs 推進室
東京都福祉保健局	塩水港精糖(株)	生活クラブ フードバンク
野村證券(株)	狛江市立和泉小学校フードドライブ	日本証券業協会 SDGs 推進室
日本証券業協会【こどもサポート証券 ネット】を通して4社	Amazon 欲しいものリストより 寄贈のべ10名	市民の皆様のべ116名

【同封書類と食品以外の提供品】

①手書きのメッセージカード ②セット食品の寄贈者一覧とオンラインアンケート案内 ③日本証券業協会 SDGs 推進室寄贈の付箋とボールペン(子ども人数分)

【広報】

- 紙媒体:食品寄贈呼びかけチラシ1300 枚作成。ニュースレターに同封及び公営掲示板、市内公共施設、連携団体
- インターネット媒体(ホームページ、facebook、X)に掲載
- 2/2 コマラジ(こまえ FM ラジオ)出演
- 2/15 広報こまえ掲載

【お渡し会】

- 3月5日(火)、9日(土)の2日間で71世帯が直接受け取り。
- お米5kgと化粧水に加え、調味料、飲料、お菓子を選んでもらい、お子さん連れには追加でお菓子を選んでもらう。

【実施経過】

日付	事業スケジュール	広報
2023年 12月 3 週目		春休み子育て応援食品寄贈チラシ作成
2024年 1月 8 日(月)		チラシ 1000 部ネット印刷入稿
2月 6日(月)		狛江市 FB・Twitter 投稿依頼、チラシ配布開始
2月 2日(金)		コマラジ出演
2月 13日(火)	春休み子育て応援実施検討会	
2月 22日(木)	春休み子育て応援申し込み開始	
2月 26日(月)		ニュースレター発送、配布開始
2月 28日(水)	春休み子育て応援申し込み終了	
3月 1日(金)	春休み子育て応援食品セット	
3月 5日(火)	第 1 回お渡し会	
3月 9日(土)	第 2 回お渡し会	

【収支決算報告】

収入		支出		
内訳	収入金額	費目	内訳	支出実績
助成金	200,000	印刷製本費	食品寄贈広報チラシ	7,800
寄付金	202,801	印刷製本費	ニュースレターNo37 印刷	5,163
		通信運搬費	食料支援ゆうパック代金	86,778
		通信運搬費	支援者用ニュースレター11月郵送	41,854
		人件費	食品管理・セットを担うスタッフ賃金	188,950
		諸謝金	食品集荷車両配送謝礼	38,000
		消耗品費	タイムズカー使用料	20,570
		消耗品費	梱包材、レジ袋、ガムテープ	13,686
合計	402,801	合計		402,801

*この事業は、コープみらい×中央共同募金『子ども・子育て支援助成』を活用して実施しました。

【事業実施の振り返り】

■心待ちにする春の子育て応援

物価高の続くなか、教育費の負担が大きくなる春休みを前に、子育て応援の食料支援を夏・冬休みの支援世帯216を対象に申込みを募り、154世帯477人(うち18歳以下の子ども276人)に食品をお届けしました。今回も申込開始初日に全体の63%の申込みがあり、心待ちにされていたと思われます。

冬休み支援後から寄贈食品の確保に努めてきましたが、昨年の1～2月の寄贈量が4.2トンに対し、今年は約3トンだったことで、昨年の一世帯19.8kgに比べ、11.2kgの食品提供量となりました。しかし、必須のお米は定期的にコープみらいや団体・個人の方の寄贈があり、問題なく提供できています。お渡し会では、食品以外の日用品も提供して喜ばれました。

■全国でフードバンクへの食品寄贈量が減少傾向

全国的にも物価高で支援需要に対してフードバンクへの企業等からの食品寄贈が減っていると言われていましたが、フードバンク狛江も例外ではなく、フードドライブ食品も減っているのが現状です。

支援世帯を対象に今回もオンラインでアンケートを実施し、今後の提供方法の検討に宅配か直接受け取りのどちらを希望されるかとその理由をお聞きしました。アンケート回収率は45%でした。

詳細は別紙を参照ください。

Q1「食品提供方法で、宅配・直接受け取りのどちらを好まれますか？またその理由を教えてください。」

直接受取希望	宅配希望	どちらでも	合計
26人	35人	9人	70人

・直接受け取りを希望する理由で一番多かったのは、11人が「フードバンクの皆さんと会えることを楽しみ。」「スタッフの方の優しさに触れられる。」「顔を合わせてお礼を言える。」と私たちにとって本当に嬉しく、やり甲斐を感じる回答でした。次に9人が「お米など宅配では頂けない食品もある。」「子供の好きなものを選ぶ。」など、宅配用セット以上に提供されるからと回答され、「梱包などお手間を減らせる。」が2人、「場所が近いから。」も2人書かれていました。

・宅配希望で一番多い理由は、15人が「働いていて受け取りの時間帯に行くことが難しい。」など時間の都合で、次いで6人が受け取りの「場所が遠い。」、また5人が「受け取りだとまわりを気にしてしまう。」「顔を見られたくない。」と答えています。4人が「重くて持ち帰れない。」との回答でした。

できる限り多くの皆さんに提供できるように、これらの回答を参考に検討していきたいと思います。

Q2 「何でも好きなことをお書きください。」

・感謝の言葉が綴られています。

「いつもありがとうございます。物価高騰の中、特に食費が家計を圧迫しているので、支援がとても有り難く助かっています。」「お米やレトルトカレーやお菓子が特に有り難かったです。子どもたちも大変喜んでいました。」など、ほとんどの回答が温かい感謝の言葉で溢れていました。

さらに「経済的にも、精神的にも、いつも子育ての大きな支えになっております」「寄付をいただいた個人、企業、スタッフの方々に感謝です。食品の価格が値上がりしているのに、集めるのが大変だと思ってます」など、今回も食料支援が心の支えになっていることを実感しました。また今回は寄付のあった化粧品や洗剤を提供したり、また直接受け取りの「お渡し会」で会員の方がバルーンアートを実演して、「頂いたバルーンアート、2人の子どもも喜んでおりました。」など、新たな取り組みも行いました。

・卒業される方のお礼状のような感想も。

今回で卒業される方の2人から、「下の子どもが高校卒業し大学生になるので、今回で最後になりました。今まで本当に助けられてきました。春休み夏、冬休みも子ども達の朝昼のお弁当用のご飯は必須でしたので、お米が何よりありがたかったです…母子ともに支えて頂き本当にありがとうございます。」「ひとり親になってから、たくさんの方に助けられ応援してもらっていることに感謝しかありません。いま社会福祉士になるべく仕事に勉強に頑張っているところです。次は私が力になれるように。」と、丁寧なお礼状のような回答でした。

・このようなご意見もいただきました。

ご意見に対しては、3月末の臨時の「おすそ分けお渡し会」の申込みに際して回答させていただきました。

- ▶ 「化粧品にマジックで狛江とか書いてあるのは、売らないようにする為と言われましたが…。だったら最初から入れないで欲しい。」「化粧品はアレルギーがあるので欲しくない。」
→ 転売禁止は必須で、一律にセットしましたが、今後の子育て応援やおすそ分けでは、化粧品の寄贈があった際は、「直接お渡し」で「希望者」にのみお渡しします。
- ▶ お米を「ジッパー式袋に小分けする方法は、衛生面で疑問があり、受け入れ難い。また、袋を開封して小分けにして大勢に配る方法は、時代に合わない。」
→ お米は大袋(30キロや20キロ)で寄贈されることが多いので、皆様に提供する際に小分けにする必要があります。ボランティアは、使い捨て手袋を着用の上、小分け作業をしています。ご理解ください。
- ▶ 「ジップロックの米は無洗米かどうか分からない。」
→ 「無洗米」には「無洗米」と明記しております。「無洗米」と書いてないものは無洗米ではありません。

今回の春休み支援で、2023年度の「食の分かち合いで子育て応援」食料支援は終了しますが、2024年度も子育てされる親御さんや子どもたちが、少しでも笑顔で暮らせるよう、引き続き事業を継続できるよう取り組んでいきたいと思っています。